

期末の事業概況（連結）

1. 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、保険引受収益が前連結会計年度に比べ186億円増加の3,286億円（うち正味収入保険料3,208億円）、資産運用収益が前連結会計年度に比べ6億円増加の202億円、その他経常収益が4億円となった結果、前連結会計年度に比べ195億円増加の3,493億円となりました。一方、経常費用は、保険引受費用が前連結会計年度に比べ56億円増加の3,161億円（うち正味支払保険金2,353億円）、資産運用費用が前連結会計年度に比べ116億円増加の136億円、営業費及び一般管理費が前連結会計年度に比べ10億円増加の161億円、その他経常費用が1億円となった結果、前連結会計年度に比べ171億円増加の3,460億円となりました。

以上の結果、経常利益は、前連結会計年度に比べ24億円増加の32億円となりました。ここから特別損失、法人税等合計を控除した親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度に比べ36億円増加の24億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ453億円増加し9,057億円となりました。また、当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ50億円減少し1,963億円となりました。

期末の事業概況（単体）

1. 経営成績に関する定性的情報

経常収益は、保険引受収益が前期に比べ81億円増加の2,294億円（うち正味収入保険料2,135億円）、資産運用収益が前期に比べ31億円増加の118億円、その他経常収益が4億円となった結果、前期に比べ114億円増加の2,417億円となりました。一方、経常費用は、保険引受費用が前期に比べ38億円増加の2,142億円（うち正味支払保険金1,723億円）、資産運用費用が前期に比べ13百万円減少の8億円、営業費及び一般管理費が前期に比べ3億円減少の98億円、その他経常費用が24百万円となった結果、前期に比べ21億円増加の2,249億円となりました。

以上の結果、経常利益は、前期に比べ93億円増加の167億円となりました。ここから特別損失、法人税等合計を控除した当期純利益は、前期に比べ79億円増加の124億円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当期末の総資産は、前期末に比べ101億円増加し5,796億円となりました。また、当期末の純資産は、前期末に比べ144億円増加し1,627億円となりました。